

日向市人口ビジョン・総合戦略策定のための
市民アンケート調査 報告書
【高校別アンケート結果】

平成27年8月

日向市

目次

1. 調査の目的	3
2. 調査の方法	3
3. 調査票回収の状況	3
高校生アンケート調査の結果	4
1. 調査対象	4
2. 調査結果	4
問1. あなたの性別を教えてください。	4
問2. あなたは普段、どちらから通学していますか。	5
問3. 日向市に愛着を感じていますか。	6
問4. 卒業後の予定を教えてください。	7
問5 - 1. 進学・就職にかかわらず、将来、日向市に住みたいと思いますか。	8
問5 - 2. 日向市に住みたい理由を教えてください。	8
問6. 日向市外から出たい場合は、どちらに住みたいです。	10
問7. 日向市に住みたくない理由を教えてください。	11
問8. 将来希望する仕事は何ですか。	12
問9. あなたは将来どのようなまちに住みたいと思いますか。	14
問10. 日向市がどう変わればもっと住みやすくなる、住みたくなると思いますか。	15

1. 調査の目的

国立社会保障・人口問題研究所の推計(平成25年)によると、本市の人口は、63,000人から平成52年(2040年)には、51,000人に減少(減少率約20%)すると予測されている。

本市が将来に向けて発展していくためには、人口減少にブレーキをかける対策を早急に講じる必要がある。

このようなことから、国の地方創生政策と連携して、平成27年度中に『日向市人口ビジョン・総合戦略(仮称)』を策定し、人口減少施策を構築することになっているおり、市民・市内高校生等の意向を総合戦略に反映するため、アンケート調査を実施する。

本報告書は上記調査の高校生アンケートについて、高校別にまとめたものである。

2. 調査の方法

高校生アンケート

対象:市内の高校(3校)に通学する高校3年生

期間:平成27年6月

方法:学校に配布と回収を依頼

3. 調査票回収の状況

(単位:人)

	男子	女子	男女計
日向高校	124	107	231
日向工業高校	105	3	108
富島高校	49	138	187
総数	278	248	526

高校生アンケート調査の結果

1. 調査対象

日向市内高校(3校)3年生 526人[男子278人(52.9%)、女子248人(47.1%)]

各校の男女別構成比は下図の通りとなっている。

	男子	女子	男女計
日向高校	124 (23.6%)	107 (20.3%)	231 (43.9%)
日向工業高校	105 (20.0%)	3 (0.6%)	108 (20.5%)
富島高校	49 (9.3%)	138 (26.2%)	187 (35.6%)
総数	278 (52.9%)	248 (47.1%)	526 (100.0%)

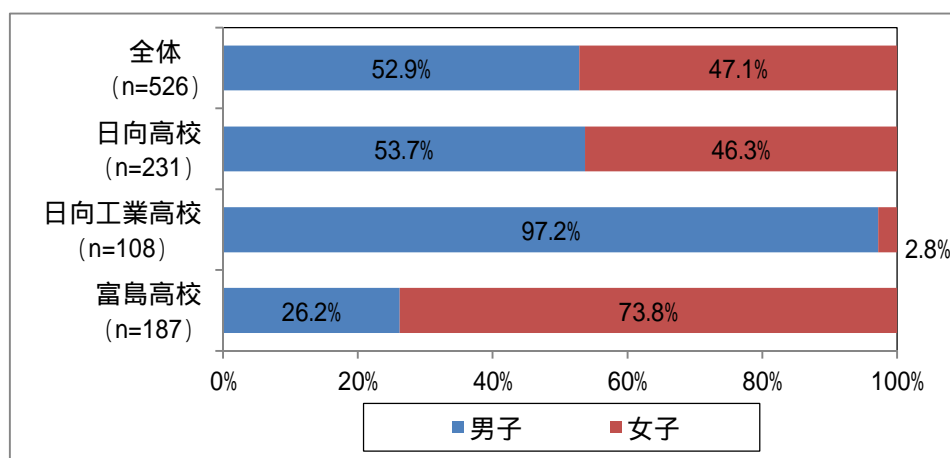
2. 調査結果

問1. あなたの性別を教えてください。(1つに)

男子の割合が52.9%、女子の割合が47.1%となっている。

「日向高校」は、男女の割合が概ね同程度となっているが、「日向工業高校」は男子の割合が9割以上を占め、「富島高校」は女子の割合が7割以上を占めている。

< 男女別構成比 >



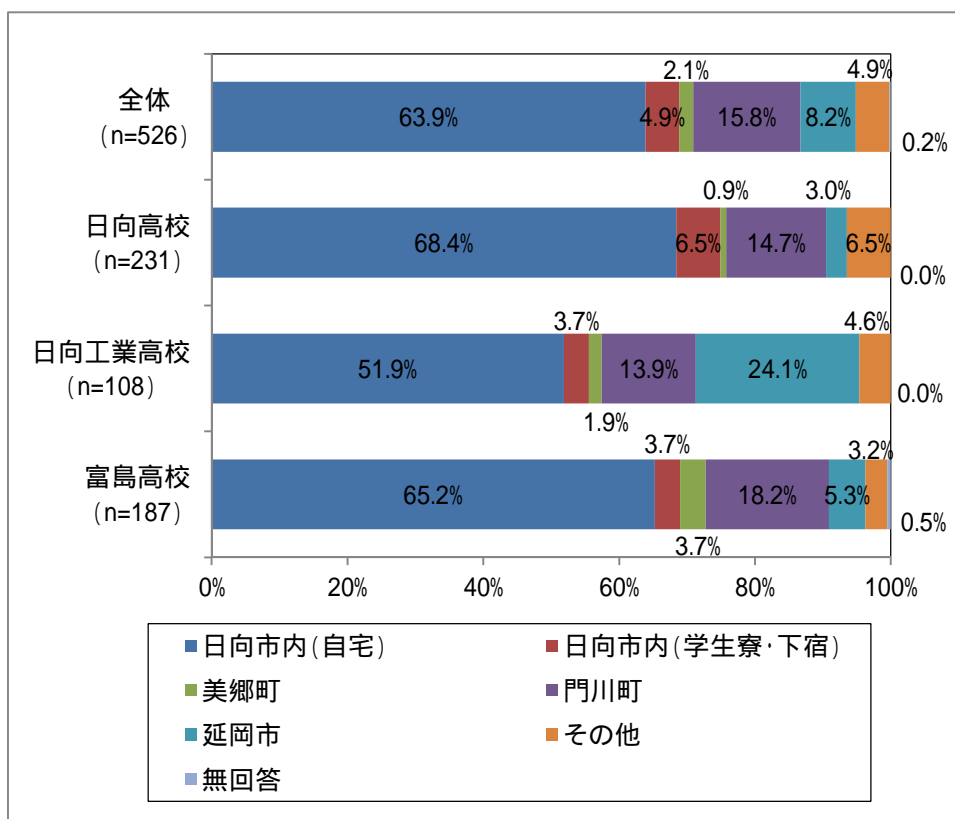
問2 . あなたは普段、どちらから通学していますか。(1つに)

「全体」では、6割が「日向市内(自宅)」から通学しており、次いで「門川町」(15.8%)、「延岡市」(8.2%)となっている。

「日向高校」「富島高校」も「日向市内(自宅)」、「門川町」、「延岡市」の順となっており、「全体」と同傾向にある。

「日向工業高校」は、「日向市内(自宅)」が約半数となっており、次いで「延岡市」(24.1%)、「門川町」(13.9%)の順となっている。「日向高校」「富島高校」と比較して「延岡市」から通学している学生の割合が2割程度高くなっている。

< 通学の場所 >



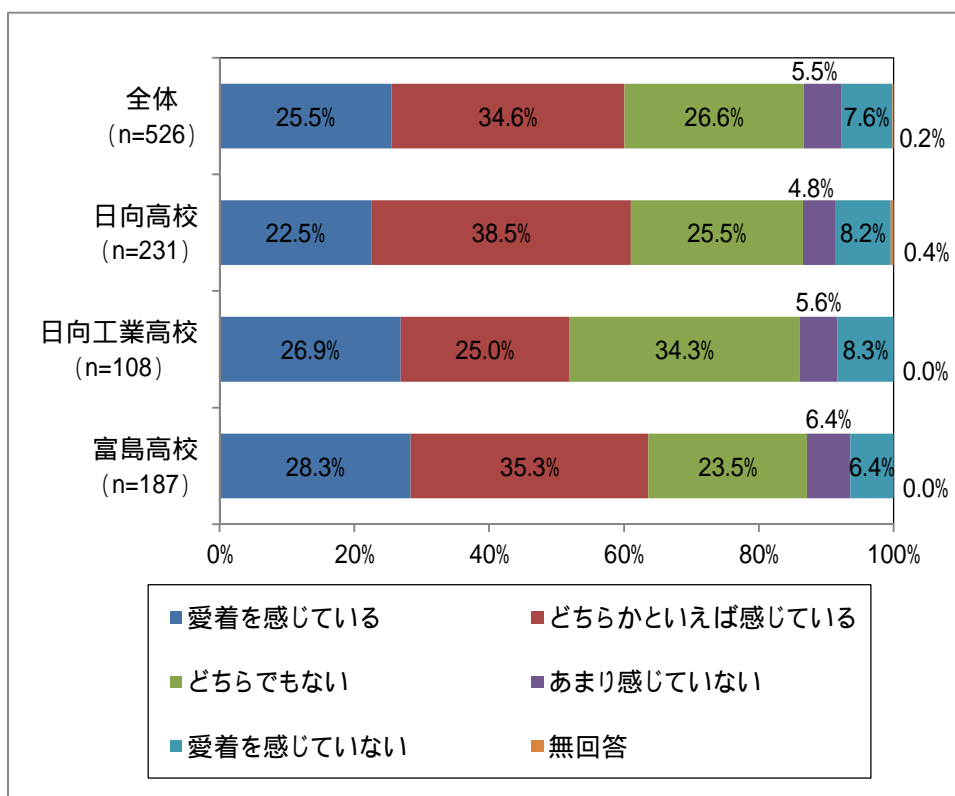
問3 . 日向市に愛着を感じていますか。(1つに)

「全体」では、「愛着を感じている」「どちらかといえば感じている」は60.1%、「愛着を感じていない」「あまり感じていない」は13.1%であり、ほとんどの高校生が地元で愛着を感じている。

「日向高校」「富島高校」も「全体」と同様の傾向にある。

「日向工業高校」は、「愛着を感じている」「どちらかといえば感じている」の割合が51.9%と「全体」よりも1割程度低く、「どちらでもない」が34.3%と「全体」よりも高い傾向にある。これは、「問2 通学の場所」の通り、「日向工業高校」は「日向市内」から通学している学生の割合が他校よりも低いことが一因にあると考えられる。

< 日向市への愛着 >

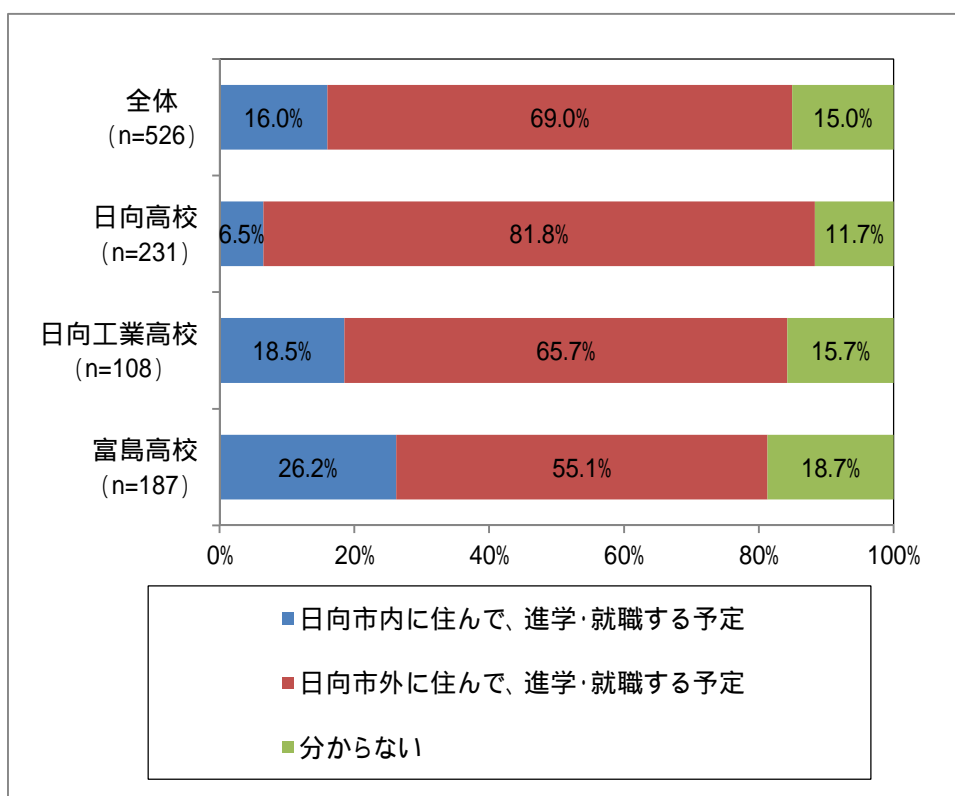


問4. 卒業後の予定を教えてください。(1つに)

「全体」では、「日向市外に住んで、進学・就職する予定」が69.0%であり、市内は16.0%にとどまっている。

「日向高校」では、「日向市外に住んで、進学・就職する予定」が8割となっており、他校に比べて市外に出る意向が高い。日向高校は進学校であるため、高等教育機関への進学を予定している学生が多いことが要因にあると考えられる。

< 卒業後の予定 >



問5 - 1 . 進学・就職にかかわらず、将来、日向市に住みたいと思いますか。(1つに)

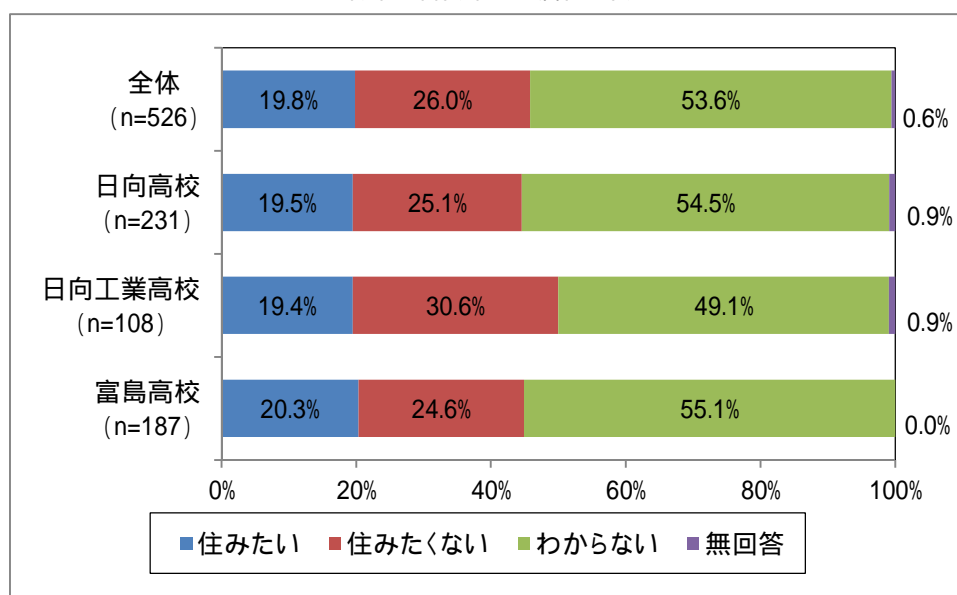
問5 - 2 . 日向市に住みたい理由を教えてください。(あてはまるもの3つまでに)

将来、日向市に「住みたい」は 19.8%で、「住みたくない」は 26.0%となっており、「住みたい」よりも「住みたくない」が 5%程度上回っている。また、「わからない」が半数を占めている。

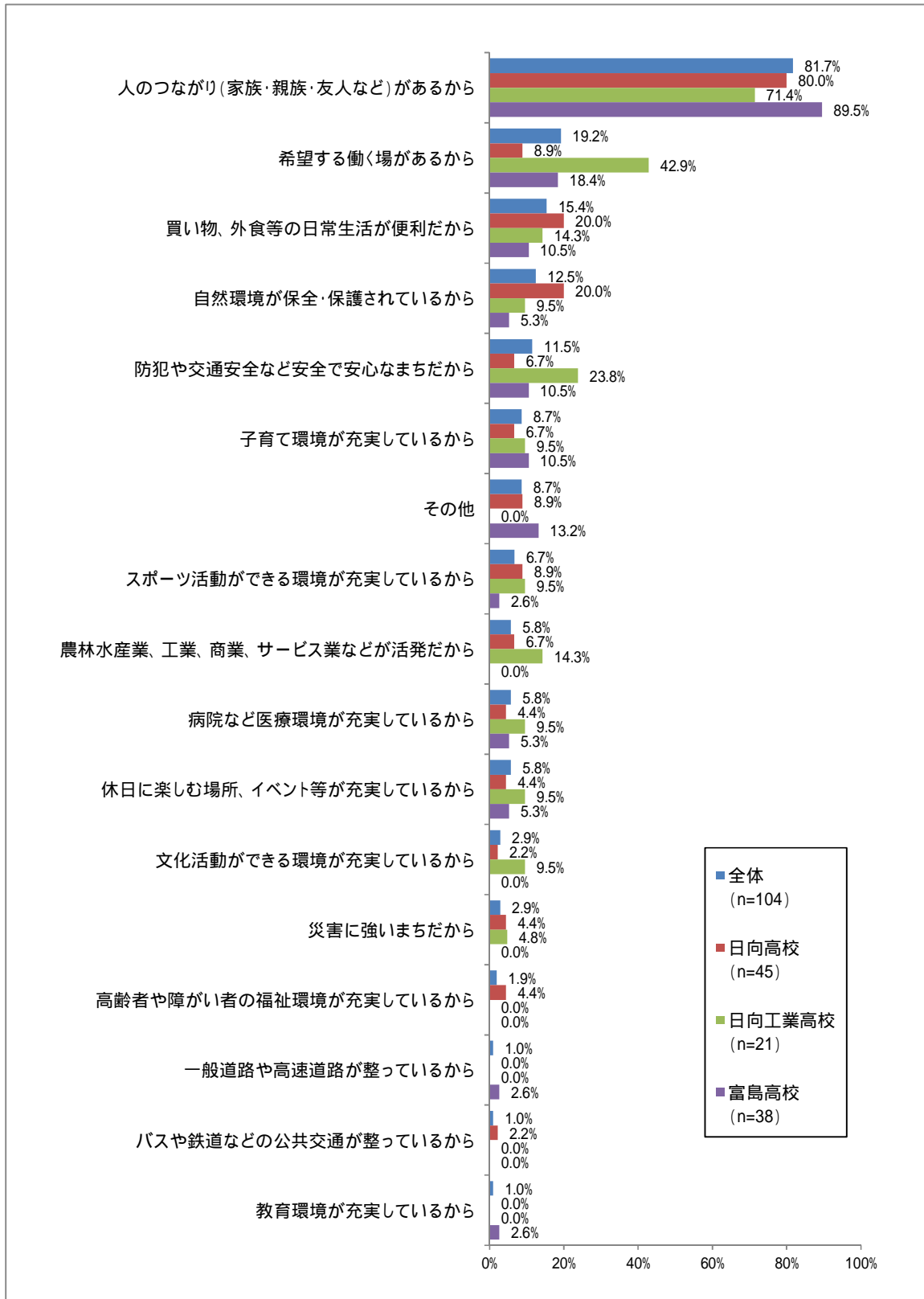
将来、日向市に「住みたい」と回答した人の理由として、「人のつながり(家族・親族・友人など)があるから」の割合が他の項目よりも大幅に高く、81.7%となっている。次いで「希望する働く場があるから」が 19.2%と続いている。

将来の日向市への居住意向を高校別にみても、各校間に大きな違いは見られない。将来、日向市に住みたい理由としては、いずれの高校も「人のつながり(家族・親族・友人など)があるから」の割合が最も高く、「富島高校」では約 9 割となっている。また、「日向工業高校」では、「希望する働く場があるから」の割合が 4 割を超え、他の高校よりも高い割合となっている。

< 将来の日向市への居住意向 >



< 日向市に住みたい理由(将来も日向市に住みたい人) >



問6. 日向市外から出たい場合は、どちらに住みたいですか。(1つに)

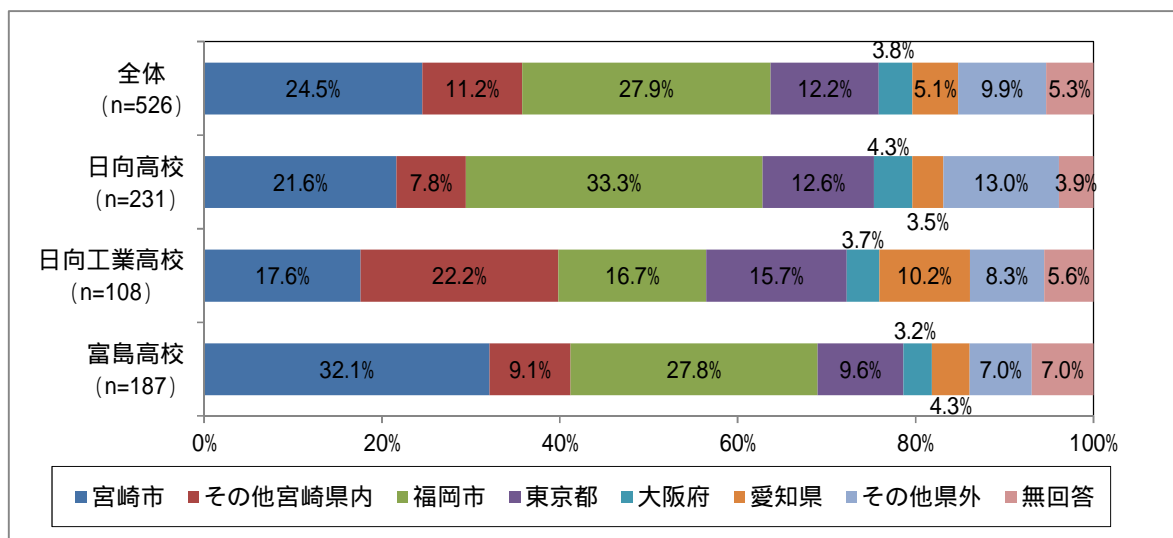
「福岡市」(27.9%)の割合が最も高く、次いで「宮崎市」(24.5%)となっている。

「日向高校」では、「宮崎県内(宮崎市+その他宮崎県内)」への居住意向が29.4%と「日向工業高校」「富島高校」よりも1割程度低くなっている反面、「福岡市」(33.3%)の割合が高くなっている。大学や短大などの高等教育機関が福岡に多いことが要因の1つにあると考えられる。

「日向工業高校」は、他の2校よりも「その他宮崎県内」の割合が高くなっているが、「日向市外」から通学している学生が多いため、地元に戻る意向があることを反映していると考えられる。

「富島高校」は、他の2校よりも「宮崎市」への割合が高くなっている。

<日向市以外に住みたい場所>



問7. 日向市に住みたくない理由を教えてください。(あてはまるもの3つまでに) (問5で住みたくないと回答した人)

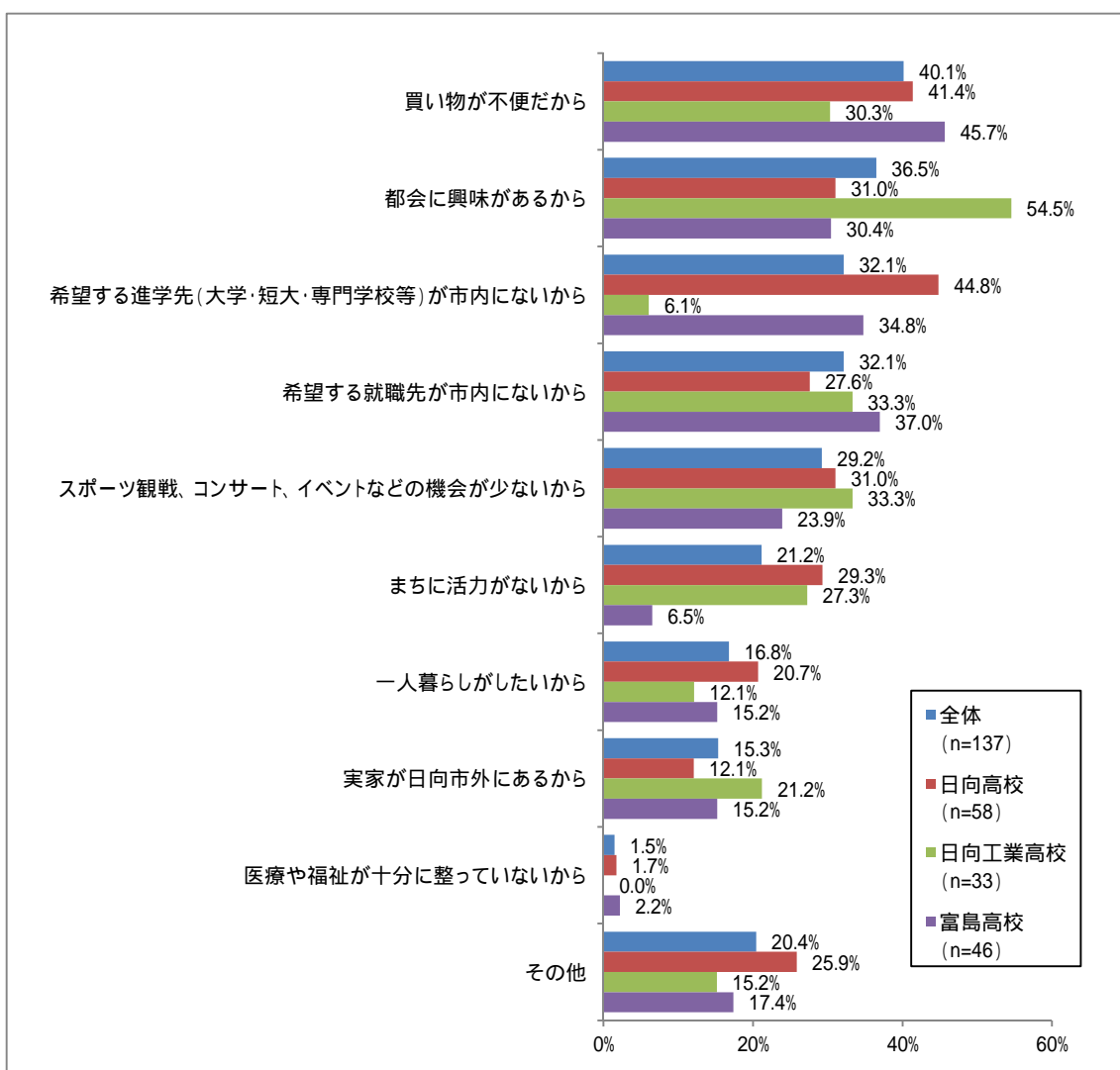
「買い物が不便だから」(40.1%)、「都会に興味があるから」(36.5%)、「希望する進学先(大学・短大・専門学校等)が市内にないから」「希望する就職先が市内にないから」(ともに 32.1%)の割合が高くなっている。

高校別でみると、「日向高校」では、「希望する進学先(大学・短大・専門学校等)が市内にないから」(44.8%)の割合が他校よりも高く、高校卒業後の進学希望者が多いことがうかがえる。

「日向工業高校」では、「都会に興味があるから」(54.5%)が他校よりも割合が高い。一方で「希望する進学先(大学・短大・専門学校等)が市内にないから」(6.1%)が他校よりも際立って低く、卒業後の就職希望者が多いことがうかがえる。

「富島高校」では、「買い物が不便だから」(45.7%)の割合が他校よりも高い一方、「まちに活力がないから」(6.5%)の割合が低い。これは、女子学生が多いことから、まち全体のにぎわいよりもショッピングできる場所に対するニーズが高いことがうかがえる。

< 日向市に住みたくない理由 >



問8 . 将来希望する仕事は何ですか。(1つに)

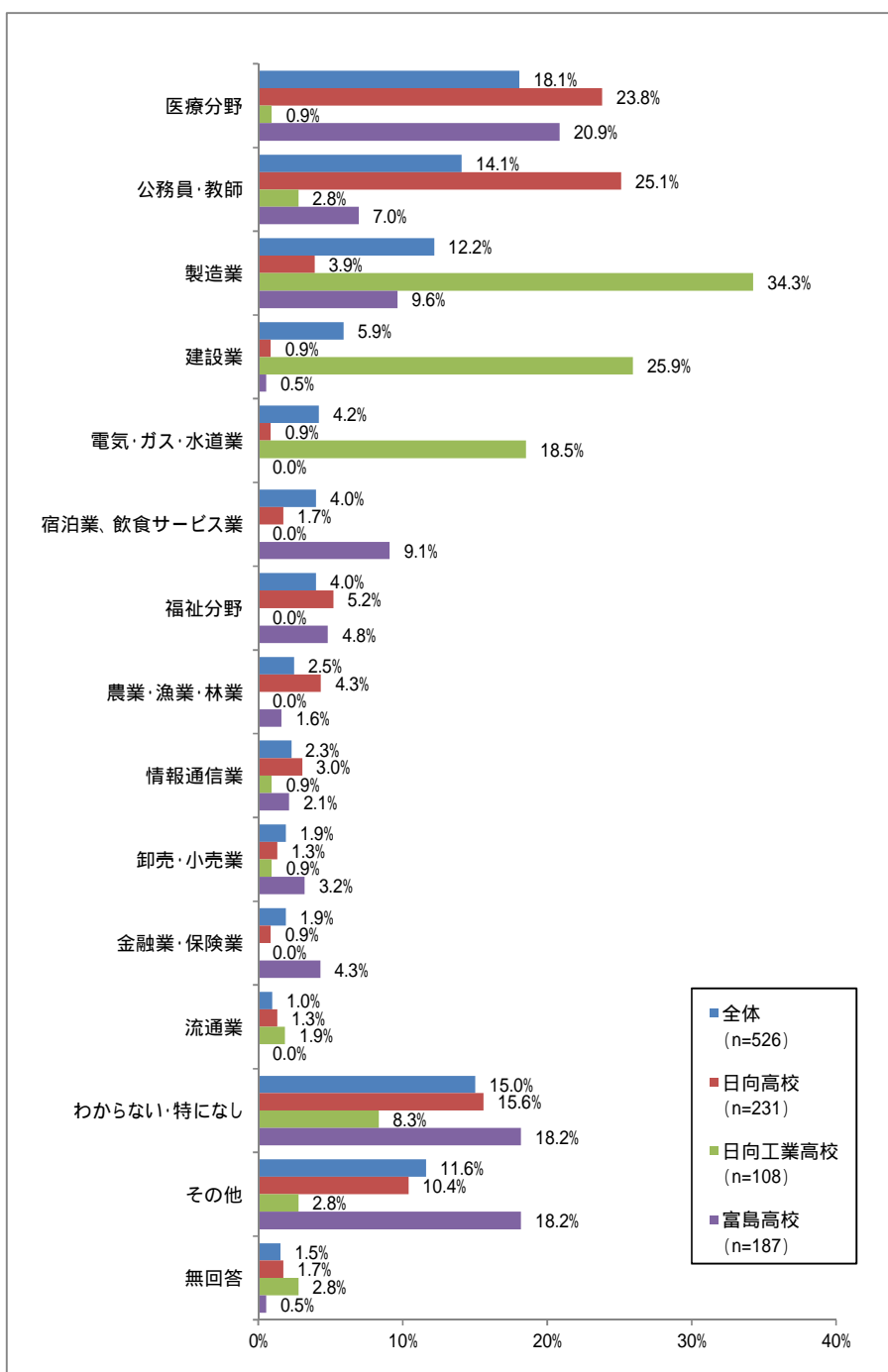
「全体」の上位は、「医療分野」(18.1%)、「わからない・特になし」(15.0%)、「公務員・教師」(14.1%)。

「日向高校」の上位は、「公務員・教師」(25.1%)、「医療分野」(23.8%)、「わからない・特になし」(15.6%)。

「日向工業高校」の上位は、「製造業」(34.3%)、「建設業」(25.9%)、「電気・ガス・水道業」(18.5%)。

「富島高校」の上位は、「医療分野」(20.9%)、「わからない・特になし」(18.2%)。

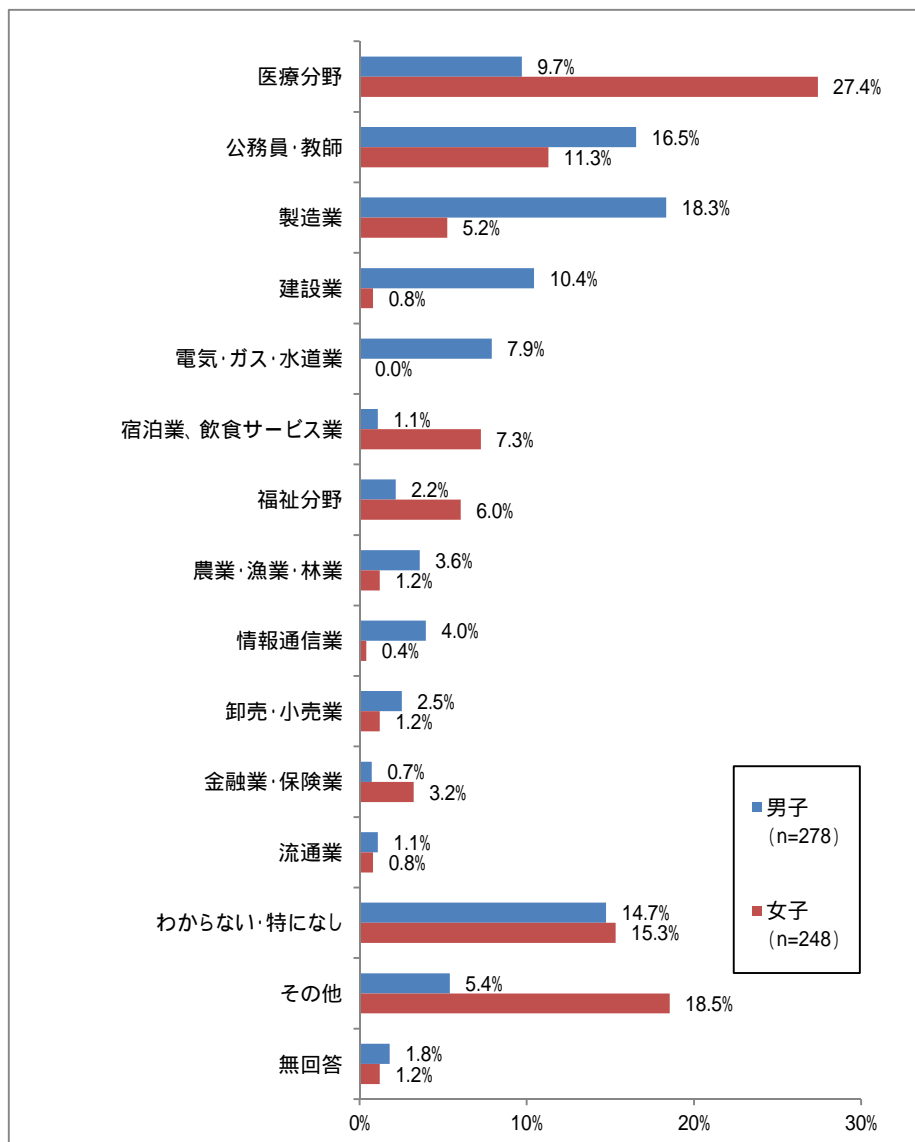
< 希望する仕事 >



「男子」の上位は、「製造業」(18.3%)、「公務員・教師」(16.5%)、「わからない・特になし」(14.7%)。

「女子」の上位は、「医療分野」(27.4%)、「その他」(18.5%)、「わからない・特になし」(15.3%)。「女子」の「その他の内容」として、「事務職」「保育士」「栄養士」「美容師」などが挙げられている。

< 希望する仕事(男女別) >

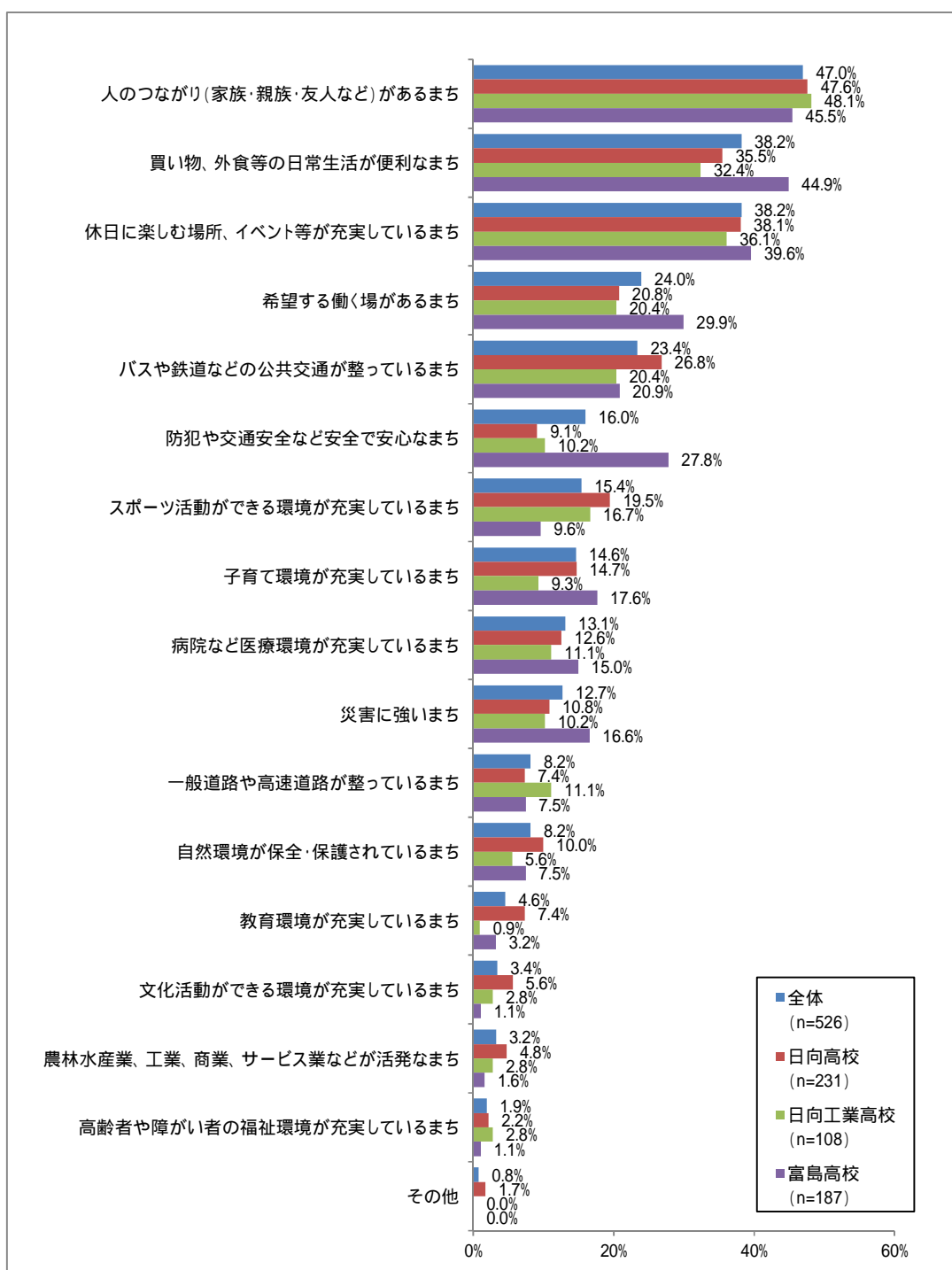


問9. あなたは将来どのようなまちに住みたいと思いますか。(あてはまるもの3つまでに)

上位3項目は、「人のつながり(家族・親族・友人など)があるまち」(47.0%)、「買い物、外食等の日常生活が便利なまち」(38.2%)、「休日に楽しむ場所、イベント等が充実しているまち」(38.2%)となっている。

高校別でみると、「富島高校」では、「防犯や交通安全など安全で安心なまち」(27.8%)の割合が他校よりも2割近く高くなっている。また、「買い物、外食等の日常生活が便利なまち」「希望する働く場があるまち」の割合は1割程度高い。

< 将来住みたいまち >



問10. 日向市がどう変わればもっと住みやすくなる、住みたくなると思いますか。

下記では、寄せられた自由意見を分類し、内容をまとめて記載している。

活性化などについて

- ・現在、市内に住む若者が遊びに行ったり、集まったりできるお店・場所が限られているため、全国的なチェーン店(クレープ屋・カフェなどの飲食店、衣料品店など)やゲームセンターなどのアミューズメント、大規模ショッピングモールを新たに誘致してほしい。
- ・プロスポーツキャンプ(プロ野球や Jリーグ)の誘致を推進することで、市内外から誘客を図ることができ、日向市の活性化に繋がる。そのため、スポーツ施設の整備を進めてほしい。
- ・細島港に寄港したクルーズ船をもっとみんなで歓迎する。(日向市のアピールに繋がる。)
- ・イベントをもっと活発にする(日向市駅前の広場をもっと活用する。)。地域の人との繋がりが希薄になってきているので、多世代が交流できるようなイベントも必要。若者向けのイベントを増やす。
- ・街に緑や花を増やし、明るくする。サーファーに対して、日向市をもっとアピールする。その他、日向市の観光名所をもっとアピールする。日向市に観光に来た人が利用しやすい飲食店などを増やす。

就業の場などについて

- ・雇用機会・給料をもっと増やす。大手企業を誘致すれば、職場も増え、活気づくと思う。また、南海トラフによる津波の被害が心配されているので、日向市が実施している災害対策を企業や市民にアピールする。
- ・若者が日向にもっと働きに来ることができるような仕事を増やし、市内の労働力を上げて福祉を充実させる。

インフラなどについて

- ・バスや電車をもっと充実させる。電車は現在、1時間に1本程度なので、30分ごとに1本などにした方がよい。また、高齢者が1時間も電車を待つのは体力的な負担も大きい。公共交通機関が充実すれば、市外から日向市に来る人も増えると思う。
- ・自転車で通学する際、大きい道路は整備されていて走りやすいが、小道に入ると道が凸凹だったり、道が狭くて車とすれ違うときが危ない。みんなが安心できるような道路の整備にもっと力を入れた方がよい。
- ・自動車を運転する人のマナーが悪い。まわりを良く見ておらず、自分勝手な運転をしている人を良く見かける。自動車が自転車や歩行者に接触しそうな場面を良く見る。また、自転車利用者の交通マナーが悪すぎる(携帯をしながら運転したり)が、最近は自転車に対する対処法が増えたので少し安心。

防犯対策・防災の取組などについて

- ・街灯が少なく、暗い道が多い。そういう道を通るときは不安になる。不審者の情報を良く聞くので、一人で歩くのが少し怖い。駅などにガラが悪い人がたむろしやすいので、対策してほしい。
- ・ゴミのポイ捨て対策を進め、街の美化に努めてほしい。また、学校のトイレ等が壊れたままなのは見苦しいので、対策してほしい。身の回りから普段目につきにくいところまで綺麗になれば、治安も良くなると思う。
- ・南海トラフの発生が懸念されているので、災害に強いまちづくりをすすめてほしい。